

他社の事柄であり、回答する立場にない！

N700系車両歯車箱破損事故で業務委員会を開催！

3月3日、マスコミ各社は「最新型のN700系（N2編成）12号車No.3歯車箱が破損し、新神戸駅で運転を打ち切り、約7,000人に影響が出た」とセンセーショナルに報じました。発生場所や車両の所属がJR西日本とはいえ、このN700系車両はJR東海も主力車両として投入を続けており、現在、約50編成も有することから、安全を担保する上で極めて重大な問題であるとして申し入れていました。回答と議論は以下のとおりです。

1. 事故発生前後の詳細な状況を明らかにすること。

【回答】

JR西日本の情報によると以下である。平成22年3月3日、20時40分頃のぞみ56号（N700系、N2編成、JR西日本所属）の車掌は西明石～新神戸駅間走行中、お客様からの申告により12号車に煙が充満していることを認め、指令に報告した。新神戸駅にて床下点検をしたところ、12号車NO3歯車箱の一部が破損しているのを認め、お客様の降車手配を行った。歯車箱内には油が残っていたため、小移動による車輪の回転を確認後、当該列車を新大阪駅まで速度30キロ以下で回送した。0時16分当該列車は新大阪駅に到着し、当社社員が床下点検を実施したところ、歯車箱内に油が無い状態であったため、搬送仮台車を装着後、大一両へ収容した。これによりお客様救済のため後続列車の臨時停車を行ったほか、始発列車までお待ちいただく場所として、東京駅、名古屋駅、新大阪駅にて新幹線車両、在来線車両を開放し約200名のご利用があった。

2. 歯車箱の破損の原因を明らかにすること。

【回答】

現在、JR西日本が調査中である。

3. 歯車箱の製造会社及び製造年月日を明らかにすること。

【回答】

他社の事柄であり、回答する立場にない。

4. JR東海の車両に同種の歯車箱が使用されていれば、直ちに運行を停止

し歯車箱を交換すること。

【回答】

そのような考えはない。

5. J R 東海における再発防止対策を明らかにすること。

【回答】

現時点では原因が判明していないが、当社としては車両所での仕業検査、交番検査時に歯車箱装置の外観からの入念点検を実施している。

6. 同編成は新神戸から新大阪駅まで回送されているが、仮搬送台車を使用せず走行させた判断は誰がしたのか明らかにすること。

【回答】

J R 西日本で判断した。

7. 新大阪～鳥飼車両基地間は仮搬送台車を使用しており、仮搬送台車不使用での走行は安全上極めて問題であると考え。会社の見解を明らかにすること。

【回答】

他社の事柄であり、回答する立場にない。

J R 西日本の判断は最善だったのか？

組合：事故当日、大阪修繕車両所の社員が現地に派遣されたが、どこが判断したのか。

会社：J R 西日本の指令と協議し、当社の指令が判断した。

組合：J R 西日本のエリアであり、大阪修繕車両所の社員はどこから指揮命令を受けるのか。

会社：指揮命令権はJ R 西日本である。指示に基づいて命令下に入る。

組合：エリアを越えた場合には決めごとがあるのか。

会社：決めごとはない。

組合：新神戸駅から新大阪駅までの仮搬送台車未使用の搬送はJ R 西日本が判断したと回答しているが、仮搬送台車使用し新大阪駅から大一両への搬送は誰が判断したのか。

会社：当社のエリア内なので当然、当社が判断した。

組合：仮搬送台車未使用のため明らかに歯車箱のひび割れ拡大、油が無かったことを勘案するとJ R 西日本の判断は間違っていたと考える。

会社：J R 西日本のプレス発表から歯車箱内でコロが噛んでひびが発生としているが、この時点では解らない。

「J R 西日本のことなので回答しない」何のための業務委員会？

組合：会社回答から、J R 西日本の事柄なので議論しないと言うことか。

会社：原因は調査中である。

組合：破損事故を引き起こした軸受コロ同様、J R 東海にも同一時期に製造された軸

受コロが存在しないのか。

会社：近い時期に製造されたものは存在している。

組合：近い時期とはいつか。

会社：J R 西日本所属の編成で起きた事象であり、回答しない。

組合：把握しているからこそ、近い時期と発言しているではないか。

会社：J R 西日本のことなので回答しない。

組合：この事故を受けて会社の具体的対策を明らかにせよ。

会社：回答通り、歯車箱の外観入念点検を実施している。

組合：今現在、Z 3 3、Z 3 4、Z 3 5 編成のみ歯車箱にサーモラベル（温度上昇による変色ステッカー）を貼付し調査を実施中であるが何のためか。

会社：勉強のために実施している。

組合：今回の事故と関係するのではないか。事故後であり、温度を把握し何のための勉強なのか。

会社：あくまでも勉強のためである。

組合：Z 3 4 編成においては、台車検査施工まじかにもかかわらず、前倒しで計画修繕として、何のために1 2号車の台車交換し、解体して浜工に送ったのか。

会社：念のために行い、浜工で調査を実施した。

組合：この台車交換は同一時期製造の軸受コロであったのではないか。

会社：製造時期等を考慮して調査のため実施したものである。

組合：この他にも同一時期製造の軸受コロは存在するのではないか。

会社：1 3台の歯車箱が存在している。随時、サンプルとして解体調査を進めているところである。

組合：事故との関係において、1 3台の同一時期製造軸受コロをサンプリングしているのか。J R 西日本からの依頼なのか。

会社：J R 西日本からの依頼ではない。事故とは関係ない。当社独自で念のためにサンプリングを実施中である。

組合：サンプリングすることは原因は軸受コロと判断しているのか。

会社：原因は調査中である。念のためである。

組合：今現在、異常はないのか。

会社：異常はない。

組合：念のためにサンプリングを実施中と主張するが、同一事故が発生してからでは遅い。ただちに1 3台の歯車箱を交換せよ。

会社：この間の歯車箱の信頼性もあり、ただちに交換する考えはない。

組合：事故が起きないと断言できない。明日事故が発生したら会社はどう責任を取るのか。

会社：仮定の話はしない。

組合：この事故に鑑み歯車箱の異常が発生した場合に、運転台で把握できる故障システムを新設すべきである。

会社：そのような考えはない。

組合：安全を最優先に、1 3台の歯車箱を早急に交換せよ。原因が判明した時点で再度業務委員会の開催を強く要求する。

以 上